

# 資格加点制度

柔道、剣道、語学、簿記、情報処理又はスポーツ経歴の一定基準以上の資格を有している場合、第1次試験に加点措置を行います。ただし、加点の対象となる資格は1つに限られ、加点は、第1次試験において満点に達するまでの最大5点とします。

加点資格	加点基準	証明書類	
柔道	2段以上（講道館認定）	講道館の段位証明書（賞状）、講道館館員証、段位証明書（講道館において発行したものに限る。）のいずれか	
剣道	2段以上（全日本剣道連盟認定）	全日本剣道連盟の段位証明書（賞状）、剣道手帳（各都道府県の剣道連盟において発行したものに限る。）、段位証明書（各都道府県の剣道連盟において発行したものに限る。）のいずれか	
語学	英語	実用英語技能検定 2級以上	合格証明書、スコアレポートなど
		TOEIC（IPテスト除く。） 470点以上	
		TOEFL（PBT） 460点以上	
		TOEFL（CBT） 140点以上	
		TOEFL（iBT） 48点以上	
		国際連合公用語英語検定 C級以上	
	中国語	中国語検定 3級以上	
		漢語水平考試（HSK） 4級以上	
	ポルトガル語	外国語としてのポルトガル語検定（旧国際ポルトガル語検定） 初級以上	
		外国人のためのポルトガル語検定 中級以上	
韓国語	「ハングル」能力検定 準2級以上		
	韓国語能力試験 4級以上		
簿記	日商簿記 2級以上	合格証書、合格証明書	
情報処理	ITパスポート試験を除く情報処理技術者試験（経済産業省所管の国家試験）合格者又はこれと同等と認められるもの	合格証書、合格証明書	
スポーツ経歴	<p>中学校卒業以降に全国規模で行われるスポーツ大会（地区予選を経たもの）に選手として出場した経験のある人</p> <p>※『全国規模で行われるスポーツ大会』とは、次に該当するものであること。 日本選手権、国民体育大会、大学選手権、全国高等学校総合体育大会、全国高等学校野球選手権大会又は、これに準ずると岐阜県人事委員会が認めるスポーツの大会（地区予選等を経た大会等）であること。</p> <p>※『スポーツ』とは、令和4年1月1日時点で、日本スポーツ協会及び日本オリンピック委員会のいずれにも加盟（正加盟・準加盟・承認）している競技団体の競技とする。</p> <p>※『選手として』とは、個人戦又は団体戦の別を問わないが、選手登録されたことを要件とする。</p>	<p>①出身校による全国大会参加証明書 岐阜県公式ホームページから『出身校による全国大会参加証明書（別記様式）』を出力して作成したもの。</p> <p>②全国規模の大会の「大会名」「選手の氏名」が分かる資料（例：賞状、大会パンフレット、新聞の切抜き等）</p> <p>③地方予選での「大会名」「選手の氏名」が分かる資料（例：賞状、大会パンフレット、新聞の切抜き等）</p> <p>※原則①の資料を提出することとし、不可能な場合は②及び③の資料を提出すること。 なお、左に例示した日本選手権等の大会（アンダーラインのある大会）については、③の資料は必要としない。</p>	

## <申請方法等>

### 【電子申請の場合】

○ 「資格加点申請」の項目で該当する資格にチェックした上、資格を証明する資料を撮影した画像データを添付して申請してください。なお、資格を証明する資料をPDFデータ化したものを添付しても構いません。

### 【郵送、持参による申請の場合】

○ 申込書の当該資格欄にレ点を記入の上、資格を証明する資料の写し（A4用紙に複写したもの、A4サイズに収まらないものは縮小したもの）を申込書とともに提出してください。

### 【共通事項】

- 岐阜県公式ホームページ（<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/police/16930.html>）から「出身校による全国大会参加証明書」をダウンロードすることができます。
- スポーツ経歴における『出身校による全国大会参加証明書（別記様式）』についても、資格を証明する資料として取り扱います。
- 証明書の原本は第1次試験当日に持参し、試験会場で提示してください。
- 申込時に証明資料（写し）の提出がないもの、試験日に証明資料（原本）の提示がないものは加点しません。
- 受験申込後の証明資料の提出は受け付けません。
- 申込時に提出された資料については、返却しません。誤って原本を提出しないよう注意してください。